

ばらのまち福山



# 市議会だより



## 9月定例会

2012年(平成24年)11月1日

No.44

ふくやま美術館東側から福山城を望む

可決した意見書	2
議案の審議結果	3
一般質問	4~10
委員会の活動	11
企業会計決算審査	11
常任委員会の視察報告	12

# 平成24年9月定例会



## 議員提案により 可決した意見書

福山市議会の意思として、その実現に向け、国会および関係機関に送付しました。

詳しい内容は、議会のホームページでご覧いただけます。

◆B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書

平成24年第4回定例会は、9月5日から25日までの会期21日間で開かれました。

5日は、市長専決処分、平成23年度健全化判断比率と平成23年度資金不足比率の報告の後、市長から市政の状況と47件の議案について説明がありました。

12日から14日までと18日は、議案や市政全般について25人の議員が一般質問をしました。

質問終了後、一般会計などの補正予算案2件については、予算特別委員会を設置して付託し、20日と21日に審査、病院事業会計等の決算認定などの3議案については、企業会計決算特別委員会を設置して付託し、定例会終了後の10月3日から5日まで審査しました。それ以外の42議案は所管の常任委員会に付託し、19日にそれぞれの委員会で審査しました。

25日は、議案を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、それぞれの報告について採決し、44件の議案を原案どおり可決しました。

そのほか、副市長の選任について同意しました。また、議員提出の意見書案1件を可決しました。

## この定例会で決まったこと

(一部をお知らせします)

### ■補正予算

○小規模多機能型居宅介護事業所にスプリンクラー設備や自動火災警報機などの設備整備費を補助する予算

○震災に備え、テントや毛布などの備蓄品を整備する予算

○地域住民による高齢者や障がい者の見守り活動を推進する事業の予算

○湯田放課後児童クラブのプレハブ教室を整備する予算

○7月3日から7日の大雨で被災した道路(金江町)や農道(沼隈町)等の復旧事業の予算 など

### ■条例

○福山夜間成人診療所(前号で建設工事に着手することをお知らせした(仮称)福山・府中地域救急支援診療所)を設置するため、位置、診療科目、診療日、診療時間などを定める条例を制定しました。(福山夜間成人診療所条例の制定)

○地域の自主性と自立性を高めるため、これまで国が政令や省令で定めていた基準等を、地域の実情を踏まえて市の条例で定めることになり、関係する基準等を条例で定めました。(道路の構造に関する技術的基準を定める条例の制定など)  
また、県が条例で定めているさまざまな業種の衛生基準等を、県から市への権限移譲に基づき市の条例で定めることになり、条例を制定しました。(旅館業法施行条例の制定など)

平成24年第4回定例会 議案の審議結果一覧

○は賛成、×は反対

賛否が分かれた案件	水曜会	誠友会	公明党	日本共産党	市民連合	新政クラブ	無所属	採決結果	付託委員会
■副市長の選任の同意について	○	○	○	×	○	○	○	同意	—

全員が賛成した案件(可決)

議案名の後の( )には付託委員会名を表記しています。

■24年度一般会計補正予算(予算特別)	■24年度介護保険特別会計補正予算(予算特別)
■生活保護法に基づく保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)	■婦人保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)
■児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)	■市立保育所条例の一部改正について(民生福祉)
■養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)	■特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)
■軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)	■老人デイサービスセンター条例及び生活支援ハウス条例の一部改正について(民生福祉)
■指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について(民生福祉)	■指定障害者支援施設等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について(民生福祉)
■障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)	■地域活動支援センターの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)
■福祉ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)	■障害者支援施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)
■指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について(民生福祉)	■指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について(民生福祉)
■指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定について(民生福祉)	■介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)
■指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)	■指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について(民生福祉)
■指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について(民生福祉)	■暴力団排除条例の一部改正について(総務)
■食品衛生検査施設の設備及び職員の配置に関する基準を定める条例の制定について(民生福祉)	■理容師法施行条例の制定について(民生福祉)
■興行場法施行条例の制定について(民生福祉)	■旅館業法施行条例の制定について(民生福祉)
■公衆浴場法施行条例の制定について(民生福祉)	■クリーニング業法施行条例の制定について(民生福祉)
■美容師法施行条例の制定について(民生福祉)	■廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例の一部改正について(文教経済)
■医療法施行条例の制定について(民生福祉)	■夜間成人診療所条例の制定について(民生福祉)
■道路の構造に関する技術的基準を定める条例の制定について(建設水道)	■道路標識の寸法を定める条例の制定について(建設水道)
■高齢者、障害者等の移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例の制定について(建設水道)	■準用河川管理施設等の構造に関する技術的基準を定める条例の制定について(建設水道)
■都市公園法に基づく都市公園の配置及び規模に関する技術的基準を定める条例の制定について(建設水道)	■高齢者、障害者等の移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について(建設水道)
■水道事業における布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について(建設水道)	■下水道条例の一部改正について(建設水道)
■山手橋床版工事(都市計画道路3・5・614号津之郷奈良津線)請負契約締結の変更について(建設水道)	■損害賠償の額を定めること及び和解について(文教経済)
■B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書案について	

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。  
議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

## 一般質問

福山市議会では、毎定例会で一般質問を行っています。

一般質問は、質問の時間を会派の所属議員数に応じて配分し、配分された時間内であれば質問者数に制限は設けません。

また、質問・答弁の方式も、初回の質問は「一括質問一括答弁方式」で登壇して行い、2回目以降の質問は「一問一答方式」を選択することもでき、議員席最前列中央に設置した質問席で行います。

この定例会では、議案や市政全般について、25人の議員が一般質問（24人が一問一答方式を選択）を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。



早川 佳行 議員  
水曜会

### 公共建築物等木材利用促進方針の策定は

**問** ①本市での方針策定を強く要望するが、考えは。

②23年度の本市の公共建築物への木材使用状況は。

**答** ①木材の利用促進は、森林の整備や山村をはじめとする地域経済の活性化につながることから

早期の方針策定に向け、検討する。  
②グラウンド・ゴルフ場、小中学校屋内運動場など10施設で使用しており、引き続き木材の使用に努める。



グラウンド・ゴルフ場に新たに設置された木材を使用した日よけ屋根(左側)



熊谷 寿人 議員  
水曜会

### 市長の3期目に対する決意は

**問** 市長は見事当選を果たしたが、3期目に対する決意は。

**答** 今期は、本市の将来を方向付ける大変重要な時期であり、財政の健全性を維持しながら、時代の変化を見越した行政運営を行う。そのため、中期的な財政推計を

踏まえ、義務的経費の縮減に努める一方、まちの活力に必要な投資的経費は現在の水準を確保したい。また、本市が将来にわたって発展し続けるよう、協働の取り組みをさらに進め、市民一人ひとりが地域の中で豊かさを感じ、生きがいを持って活動できるよう、新たな仕組みづくりと人づくりに取り組む。

豊かさも、物だけでなく、心の豊かさも含め、市民の皆さまと共有できる豊かさを実現する市政をめざし、全力で取り組む。



瀬良 和彦 議員  
水曜会

### 協働のまちづくりの今後は

**問** ①協働のまちづくり基金等を活用した市民活動への助成・支援のこれまでの成果と課題は。  
②今後の取り組みは。

**答** ①各学区まちづくり推進委員会を中心に、地域課題や学区の

実態に応じた特色ある事業に取り組み、地域の活性化、市民の自治意識の高揚につながってきていることが成果である。

また、協働の良さを実感できるような取り組みの広がりを持たせることや、まちづくりの将来を担う人材育成が課題である。

②課題を踏まえ、協働を支える新たな仕組みづくりを行い、市民一人ひとりがまちづくりの主役として生き生きと活躍し、存在感や心の豊かさを実感できる市政の実現に取り組む。

※公共建築物等木材利用促進方針：地方公共団体が整備する公共建築物において、木材の利用を促進するための施策についての基本的事項や、木材利用の目標等を定めたもの。



神原 孝巳 議員  
水曜会

行政と自治会との連携は

**問** 自治会組織は市政の発展には欠かせないパートナーと考えるが、自治会組織との協力関係をどのように考えているのか。

**答** 自治会は協働のまちづくり推進のけん引役として、とりわけ地域活動の主体である学区まちづくり推進委員会の中核的な存在である。

あり、重要なパートナーである。

また、審議会等への市民代表としての参画など、行政施策推進の一翼を担っていただいております。こうした連携・協力の中で、市民の皆さまが主体となる住民自治と、行政が進める団体自治が両輪となって、まちづくりを進めることが最も重要である。

今後もさらに緊密な連携を図りながら、自助・共助・公助の基本を踏まえ、より効果的な支援のあり方について工夫する。



大田 祐介 議員  
水曜会

ジェネリック医薬品（後発医薬品）の普及は

**問** 昨今の医療財政を考えれば、ジェネリック医薬品の使用促進は自然な流れであり、自己負担額差額通知事業を推進すべきと考える。

①本市での差額通知の取り組みは。

②医師会など、関係機関との連携は。  
③市民病院での23年度のジェネリック医薬品の使用実績は。

**答** ①今年3月から実施し、これまで合計555通を送付した。  
②市内の各医師会、薬剤師会等と説明用リーフレットの内容や問い合わせ窓口などの調整を行った。  
③購入金額は1億2675万円で総額の4・7%、品目数は158品目で総数の8%である。



連石 武則 議員  
水曜会

今後の観光行政は

**問** 本市の観光資源には、重伝建選定をめざす軒の歴史ある町並みや福山城、全市挙げてのイベント、ばら祭や夏まつりなどがある。合併したそれぞれの地域にも豊富な地域資源があるが、観光資源として生かされていない。今後の振興策は。

**答** 総観光客数は、22年は「龍馬伝」の放送もあり約679万人で、23年は前年比5・1%減少しており、入り込み観光客数の増加につながる全国規模の会議や大会などの誘致に積極的に取り組む。

軒は、重伝建選定に向けて、現状や今後の推移を確認しながら必要な作業を進める。  
また、各エリアの観光資源を生かした魅力ある観光ルートの設定や効果的な情報発信に努め、話題性や集客性のある冬のイベントを企画し取り組む。



木村 秀樹 議員  
水曜会

巨大地震の被害想定公表に対する対応は

**問** 被害想定を踏まえた本市の対応は。

**答** 国、県、市立大学と連携し減災の取り組みを市民に正しく周知し、地域防災計画や津波ハザードマップを見直すなど、総合的に防災施策を推進する。

上下水道施設は市民生活などに与える影響が甚大なため、引き続き耐震化・耐震補強を進める。  
小中学校は、今年度中に、災害時の避難場所となる屋内運動場はIs値0・3未満の施設の耐震化を、校舎は二次診断を完了する予定で、危険性が高いとされる施設等から改修に着手し、できる限り早期に整備できるよう取り組む。

防災教育は、学校防災マニユアルを見直し、全ての児童生徒が状況に応じて判断し行動できるようにその充実を図る。

※自己負担額差額通知：処方された薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合に、どれくらい自己負担額が軽減されるかの差額を記載した医療保険者から被保険者への通知。



稲葉誠一郎 議員  
誠友会

### 市制施行100周年 記念事業は

**問** 28年7月の市制施行100周年記念事業で、総合体育館の整備を検討してはどうか。

**答** 総合体育館などの施設整備については、社会体育施設全体のあり方や財政状況などを総合的に判断する必要があり、現在策定し



今川 亨治 議員  
誠友会

### 市立動物園と周辺地域の 整備は

**問** ①入園者の暑さ・雨対策は。②猛獣等が脱出した場合の、入園者や住民の安全確保体制は。③新たな動物園の魅力づくりは。④動物園を中心とした周辺整備の考えは。

ている体育施設基本計画や、市制施行100周年記念事業などとの関係を考慮しながら検討する。



福山市体育館(草戸町五丁目)

**答** ①テントやミスト設備の設置などを行っている。今後は、テントの増設や樹木の植栽等を検討する。②施設の日常点検の強化や緊急時連絡系統の徹底など、安全確保に努めている。今後も脱出を想定した模擬訓練などを実施し、他の動物園の状況を把握し、さらなる安全対策を研究する。③飼育展示動物の充実や、動物の知識など学習の場としての機能を高めていくことが必要である。④地域の皆さまの協力を得ながらさらなる動物園の魅力づくりと合わせて検討する。



田中 光洋 議員  
誠友会

### 熊野町の活性化策は

**問** ①活力ある地域づくりを行うための、市街化調整区域での土地利用の考え方は。②農振農用地区域のメリットを生かした農業振興と担い手不足対策は。

**答** ①基本的に市街化調整区域は、無秩序な市街化を防ぐ必要が



佐藤 和也 議員  
誠友会

### 災害時要援護者の 避難支援の取り組みは

**問** ①地域における災害時要援護者の避難支援の手引きの作成により、民生委員の協力を得て、高齢者や障がい者など対象者の制度登録の可否について確認が行われた。取り組みほどの程度進んでいるのか。

ある区域と位置付けており、自然環境と農林業との健全な調和を図る必要がある区域で、土地利用では一定の建築行為等が制限される。②農振農用地区域が事業実施要件である各種の農業基盤整備事業が実施され、耕作放棄地再生利用事業等に取り組んだ地域では集落法人が設立された。今後とも、地域農業者と協議する中で、農振農用地区域のメリットや地域特性を生かし、集落法人をはじめとした多様な担い手の育成、確保に努める。

**答** ①避難支援の取り組みを促す出前講座の取り組み状況は。②これまで38学区に要援護者名簿を提供し、その学区では地域での災害時要援護者の避難支援計画が定められている。その他4学区で独自に避難支援の取り組みが行われている。②21年度からの3年間に78会場で3460人、今年度は8月末現在7会場で210人の参加があった。今後とも、地域での主体的な取り組みが進むよう、出前講座等も活用し、一層の啓発に努める。

※農振農用地区域：農業上の利用を確保すべき土地として市が定めた区域。



徳山 威雄 議員  
誠友会

日本の領土と国境について

**問** 日本の領土である竹島と尖閣諸島をめぐって、韓国と中国は自国の領土と主張している。中学校の公民の教科書に、竹島は日本の領土と表現されており、地理の教科書に、尖閣諸島は記載がない。日本の範囲などをどのように教えているのか。

**答** 学習指導要領に基づき指導している。中学校社会科の地理的分野では、地球儀や地図を活用し国土の位置などを大観させることが指導内容として示され、また、指導上の留意事項として、わが国と韓国の間には、竹島をめぐって主張に相違があることなどにも触れ北方領土と同様にわが国の領土・領域について理解を深めさせることも必要であると示されている。

指導に当たっては、北方領土、竹島、尖閣諸島について日本固有の領土であるとして指導している。



生田 政代 議員  
公明党

学校での熱中症対策は

**問** 公立小中学校の管理下での熱中症発生件数と熱中症対策は。

**答** 熱中症とみられる症状で医療機関にかかった件数は、今年度は8月末現在4件で、重症化したケースはない。

教育委員会では、5月から8月

の計4回、気象状況の把握と運動中止の判断、適度な休憩と水分補給等について注意喚起している。学校では、運動場や体育館への温度計の設置や危険度の表示、気温や暑さ指数を黒板に記入する等気象状況の把握や周知のための工夫を凝らし、部活動の短縮や中止の判断をしている。

また、運動時には適度な休憩と小まめな水分・塩分補給を行い、さらに冷たいタオル等で体を冷やすなど、学校ごとに工夫し、児童生徒の健康管理に努めている。



門田 雅彦 議員  
公明党

食品の衛生管理は

**問** 札幌市の食品会社が製造した白菜の浅漬けが原因で、腸管出血性大腸菌O157による集団食中毒が発生し、7人が死亡し、130人以上が発症した。市内の食品加工会社の衛生管理について、どのような指導、検査をしているのか。

**答** 保健所では、食品の安全を確保するために、毎年度、市食品衛生監視指導計画を策定し、食品加工工場などの食品関係施設への立ち入り指導や、製造された食品の細菌、添加物、着色料、残留農薬などの検査を行っている。

今回、集団食中毒が発生したことから、市内の漬物製造業者への立ち入り検査を特別に実施し、原材料の洗浄や殺菌状況、製造工程の衛生管理、製品の保存状況の確認などの監視指導を行っている。



宮地 徹二 議員  
公明党

防災行政について

**問** ①南海トラフ巨大地震による国の甚大な被害想定が公表されたが、本市の対応は。②地域や学校での防災訓練は。③備後圏域連携協議会で7月に締結された協定の内容は。

**答** ①国、県、市立大学と連携し、地域防災計画や津波ハザード

マップを見直し、津波に対する早期避難の必要性などを市民に正しく周知できるよう取り組む。  
②23年度は37学区で11546人今年度は、6学区で防災行政無線を活用するなど、8月末現在7学区で1724人が参加した。小中学校では、地域の実情に応じた避難訓練等を実施。今後も地域との連携を深め、防災教育の充実を図る。  
③災害発生時に、食料や生活必需品の提供、職員派遣など、構成市町が相互に応援協力し、被災市町の応急・復旧対策を迅速かつ円滑に遂行するもの。

※協定：災害時の相互応援に関する協定



黒瀬 隆志 議員  
公明党

橋梁の長寿命化について

**問** 22年度に、5800橋の長寿命化修繕計画を策定した。

- ①今後の取り組みは。
- ②長寿命化対策を行った場合のコスト縮減効果は。

**答** ①橋梁の損傷区分となる健全度を、橋梁点検の結果で、ひび割れ等の損傷状況により5段階で



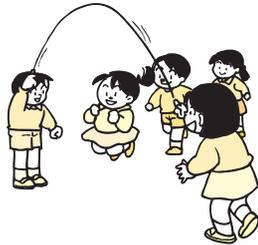
和田 芳明 議員  
公明党

いじめ問題への取り組みは

**問** 大津市でいじめを受けた生徒が自殺した問題をきっかけに、「いじめ」が大きな社会問題となっているが、本市の取り組みは。

**答** 年度当初に各学校に対して指導体制など自己点検できる29のチェックポイントを示し、いじめ

評価し、健全度1のこのまま放っておくと交通障害等の恐れが懸念されるものから、健全度3の交通に支障はないが損傷が進行しているものは修繕等を行うこととし、健全度1の14橋全部について23年度から順次対応している。損傷が小さい健全度4から損傷が認められない健全度5は早期に修繕を要しないため、定期点検を実施する。②今後60年間について試算を行った結果、約4割の縮減が見込まれる。



に迅速に対応できる体制づくりに努め、また、学期に1回以上の、いじめに関するアンケート調査に基づき、全ての児童生徒への個人面接を行うよう指導している。いじめがある場合は、指導内容等を確認し、学校が対応に苦慮している事案は、指導主事を学校に派遣し支援するなど、いじめ解消に向けた取り組みを進めている。



河村 晃子 議員  
日本共産党

食品の放射能汚染対策は

**問** 三次市で生産された、放射性物質に汚染された可能性のあるシイタケが市内で流通したことへの受け止めは。

**答** 当初、市内への流通はないとされていたが、市内の販売店で購入した方がいるとの情報を得て当該販売店を調査したところ、生



土屋 知紀 議員  
日本共産党

教職員の多忙化解消と35人学級の早期実現を

**問** ①教職員が生徒の思いなどを正面から受け止め、専門性を発揮し、生徒の可能性を引き出し育てることが、いじめの克服につながる。そのためには長時間勤務の解消が必要だが、取り組みは。

産者からの自主回収の指示によりすでに店頭から撤去されていた。回収の報告がなかったことについて販売店を指導し、県に的確な情報提供を要請した。

また別に、当該販売店の系列店で購入したとの相談があり、民間検査機関に検査を委託したが、放射性セシウムは不検出であった。今後、関係自治体や関係団体などとの連携を一層密にし、汚染された食品の流通情報を確認した場合、必要に応じて検査を実施するなど、食品の安全確保のため適切に対応する。

②35人学級の早期実現を求める。

**答** ①提出書類の削減や簡素化新入生の指導要録のデジタル化等を行い、今年度からは、毎年実施していた学校実態調査を2年に1回とするなど、子どもと向き合う時間を増やすための業務改善に取り組んでいる。

②9月7日付けで、文部科学省から、25年度以降の5年間で小中学校全学年の35人学級を実現させる「新たな教職員定数改善計画案」が示されたところで、国の動向を注視する。



高木 武志 議員  
日本共産党

**建築物査察等適正化対策委員会の中間取りまとめについて**

**問**

①鳥取県や東京都では定期報告を行っていない施設の公表や防火対象物違反の公表で効果を上げている。本市でも制度の創設を求める。  
②既存不適格建築物に対し、毅然とした指導を貫き、改善勧告



村井 明美 議員  
日本共産党

**鞆のまちづくりは**

**問**

①重要伝統的建造物群保存地区の選定について、進捗状況と選定時期、今後の見通しは。  
②道越地区について、水産業者の白茅地区への移転を援助、促進し、波止や海岸線を修復、再生し、大雁木を修復する考えは。

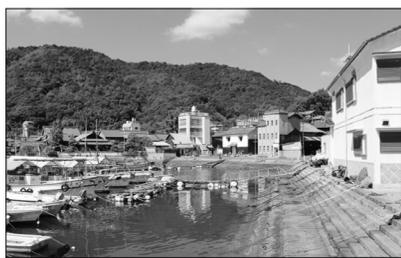
**答**

①県の動向や地元の意向な

など実効ある対応を求める。  
③査察対象物全てを査察するため、予防要員の増員を求める。

**答**

①公表は、法令等の整合を図る必要がある、最終取りまとめで整理する。  
②勧告・是正命令も最終取りまとめで整理する。  
③予防要員に加え、警防要員も相互に補充しながら実施しており、今後も組織全体で取り組み、効果的な査察体制を構築する。



鞆港の雁木

などを確認しながら、住民の理解をいただく中で作業を進める。  
②無許可棧橋は自主撤去されており、県が今後も湾内の水域、陸域の秩序維持に努めると聞いている。波止や海岸線、大雁木は港湾施設として  
県が維持管理しており、修復などは県で早急に検討すべきと考える。



川崎 卓志 議員  
市民連合

**違法建築物への対応は**

**問**

ホテルプリンスの火災を受けて、建築基準法や消防法に違反する建築物に対する指導のあり方は。

**答**

このたびの火災事案を受け緊急の防火査察と火災予防査察を行い、不備事項については改善計画書の提出を求めるなど、継続的



西本 章 議員  
市民連合

**こども発達支援センターの対応は**

**問**

①就学前の子どもの発達相談・診療は同センターが、就学後から成人は市障がい者総合相談室（クローバー）や県立若草園が担当することである。その役割分担の市民への周知は。  
②クローバーでの発達障がい

な指導により一定の改善が行われている。  
このような継続的な指導にも関わらず何ら対応がなされない場合は、行政の役割として、建築基準法や消防法にのっとった対応を厳格に行う必要がある。



建築物査察等適正化対策委員会

関する相談は3カ月以上待つ状況とのことだが、解消できるのか。

**答**

①これまでもさまざまな機会を通じて周知に努めてきた。今後、保護者団体や医療機関への説明会、広報紙等で一層の周知を図る。  
②これまで障がい者総合相談事業で行っていた就学前児童の相談・支援は同センターで対応し、相談・診療、訓練を経て、家庭や保育所療育機関での支援につないでいく。同センターでの相談・支援事業が軌道に乗れば、待機状況も徐々に緩和されると考える。

\*既存不適格建築物：既に現存しているか、または工事中である建築物のうち、建築基準法の改正や用途地域など都市計画の変更などによって、それまでは適法であったが新しい基準には適合しなくなった建築物。従前の基準に適合していた建築物は、原則として新しい基準を適用しないので、違反建築物とはならない。



高橋 輝幸 議員  
新政クラブ

人口動向への基本的な  
考えと対応は

**問** 第四次福山市総合計画後  
期基本計画の基本指標の中で、  
20年後の将来人口は3万9千人  
の減になると予想している。人  
口減少への考えは。

**答** 本市の人口は、22年の国勢  
調査では前回調査と比べ若干増加



藤田 仁志 議員  
無所属

不登校児への対応は

**問** ①取り組みの具体は。  
②不登校児が民間施設を利用し  
た場合の出席扱いの要件は。

**答** ①本市では、欠席日数に関  
わらず、不登校の定義を踏まえ、  
各学校において校内不登校委員会  
で方針を確認し、保健室登校や家  
庭訪問など、個々の状況に応じて

という結果だったが、同計画では  
近いうちに減少すると推計してい  
る。

人口減少は、単なる人口規模の  
縮小ではなく、人口構造の変化を  
伴い、制度面でもさまざまな影響  
を及ぼす大きな課題と受け止めて  
いる。

そのため、3年前からゼロペー  
スでの事務事業の見直しと再構築  
に取り組み、健全で持続可能な行  
政運営が行える効率的な行政体質  
を構築し、社会経済の発展や地域  
の活力維持につながる行政運営を  
行っていく。

取り組んでいる。

②文部科学省が示す「指導要録上  
の欠欠の扱いについて」に要件が  
「民間施設についてのガイドライ  
ン」で基準が示されており、指導  
要録上の出席扱いは、これらの基  
準を基に校長が教育委員会と連携  
し判断している。

小児二次救急の空白日について

**問** 空白日への対応はどうか。

**答** 県や関係機関等と連携し、  
空白日の解消に向けて取り組んで  
いる。

議会報告会開催に向け運営委員会を設置

福山市議会では、議会報告会を開催するこ  
とになりました。来年の8月を初回として、  
毎年開催する予定です。

来年の実施に向けて準備をするため、各会  
派から選出された委員10人で構成する議会報  
告運営委員会を設置し、9月19日に第1回目  
の委員会を開催しました。

議会基本条例では、議会は、議会報告会の  
開催等により、市民へ議会活動を報告するよ  
う努めることを定めています。

和田 芳明 藤原 平 大塚 忠司  
岡崎 正淳 高田 健司 ◎熊谷 寿人  
○池上 文夫 高木 武志 瀬良 和彦  
黒瀬 隆志 (10人)

(◎委員長 ○副委員長)

虚礼廃止にご理解を！

政治家は、日頃からお世話になった人でも、  
お歳暮やお中元を贈ることは禁止されています。  
また、年賀状や暑中見舞いなどのあいさつ状  
を出すことも禁止されています。  
皆さまのご理解をお願いします。

11月臨時会・12月定例会の開催予定

11/12(月)	本会議 (市長提案説明など) 決算特別委員会 (書類審査)
13(火)	決算特別委員会 (書類審査)
14(水)	決算特別委員会 (質疑)
15(木)	決算特別委員会 (質疑)
16(金)	決算特別委員会 (質疑・討論・表決)
26(月)	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)
12/4(火)	本会議 (市長提案説明など)
7(金)	議会運営委員会
10(月)	本会議 (一般質問)
11(火)	本会議 (一般質問)
12(水)	本会議 (一般質問)
13(木)	本会議 (一般質問など)
14(金)	常任委員会 (総務、民生福祉、文教経済、建設水道)
17(月)	予算特別委員会
18(火)	予算特別委員会
21(金)	議会運営委員会 本会議 (委員長報告など)

○本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。  
(ただし、12月21日の本会議は午後1時からです。)

○詳しくは、議会事務局 (☎084-928-1136) まで  
お問い合わせください。

\*不登校の定義：文部科学省では、「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校  
しない、あるいはしたくともできない状況にあること。ただし、病気や経済的な理由によるものを除く。」と定義している。  
\*空白日：市内の4病院が輪番(交代)で実施している小児の二次救急で、当番日を事前に決められない日。

### 委員会の活動(7月～9月)

7月から9月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。

#### ◆常任委員会

	開催日	調査・審査項目		開催日	調査・審査項目
総務	7/26	<ul style="list-style-type: none"> <li>福山市立大学2013年度入学選抜試験について</li> <li>職員採用候補者試験の実施について</li> </ul>	文教経済	8/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012年度流動客調査の実施結果について</li> <li>里山里地の再生・保全事業について</li> <li>地産地消推進運動について</li> <li>地球温暖化対策事業「スクラムふくやま☆エコトライ」の事業実施状況について</li> <li>福山市社会体育施設整備構想について</li> <li>2012年度学力調査の結果について</li> <li>北京市教育交流推進事業について</li> <li>いじめ問題への取組について など</li> </ul>
	8/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度健全化判断比率の報告について</li> <li>平成23年度資金不足比率の報告について</li> <li>福山市建築物査察等適正化対策委員会について</li> <li>国民健康保険被保険者証の個人別カード化について など</li> </ul>		9/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>付託された議案(2件)の審査</li> </ul>
	9/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>付託された議案(1件)の審査</li> <li>生活安全モデル地域の指定について</li> </ul>			
民生福祉	8/9	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所の再整備について</li> </ul>	建設水道	8/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>福山市建築物査察等適正化対策委員会について</li> <li>緊急防災査察の実施結果と是正及び改善状況について</li> <li>水道事業及び工業用水道事業の財政状況について</li> <li>水道施設地震対策基本計画について など</li> </ul>
	8/27	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守り活動推進事業の実施について</li> <li>障害者自立支援法の一部改正について</li> <li>2012年度敬老行事の概要について</li> <li>こども発達支援センターについて など</li> </ul>		9/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>付託された議案(9件)の審査</li> </ul>
	9/19	<ul style="list-style-type: none"> <li>付託された議案(30件)の審査</li> <li>福山市高齢者保健福祉計画2012に基づく施設整備について</li> </ul>			

#### ◆特別委員会

	開催日	調査項目
都市整備	9/25	<ul style="list-style-type: none"> <li>福山駅における一部改修計画について</li> </ul>
競馬事業	8/23	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012年度福山競馬開催成績について</li> <li>2012年度他場受託発売成績について</li> <li>2012年度競馬事業特別会計第1四半期決算について</li> <li>振興策について</li> </ul>

各委員会の詳しい内容は、議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。  
 なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。

#### 平成23年度企業会計決算を審査

23年度の病院事業および水道事業・工業用水道事業の企業会計の決算認定議案を審査するため、企業会計決算特別委員会(委員18人)を設置しました。

委員会では、10月3日から5日までの3日間で書類審査や質疑等を行い、各事業会計の予算が効果的に執行されているかなどについて慎重に審査しました。

10月5日に、それぞれの事業会計について討論を行い採決し、決算特別委員会として、それぞれの決算



決算審査風景

の決算を認定することに決定しました。なお、この結果は11月12日に開催される臨時会で委員長報告を行います。

## 総務委員会 (8月9日～11日)

前橋市：収納率向上策について  
 足立区：シティブロモーション事業について  
 東京都：市民への防災啓発について



東京都

前橋市では、収納率向上策について職員の意識や機構の改革などに取り組んだ結果、自主財源の確保につながり、国保税の据え置きなどの成果となって表れています。  
 足立区は、シティブロモーション事業として区のイメージアップを図り、ブランドを育てることで、住民の誇りや地元愛を高めて、持続的発展をめざす取り組みを実施しています。  
 池袋防災館では、火災時での煙や地震などの模擬体験と災害の対処法を学びました。

## 民生福祉委員会 (8月6日～8日)

千葉市：生活保護自立支援強化プロジェクトについて  
 浦安市：夢のみずうみ村浦安デイサービスセンターについて  
 愛知県：あいち発達障害者支援センターについて



浦安市

浦安市では、「夢のみずうみ村」が運営するデイサービスセンターを視察。  
 介護施設では「バリアフリー」が一般的ですが、ここは意図的に段差や傾斜などを配置した「バリアフリー」になっています。また、随所にクイズや運動ゲームなどを用意し、楽しみながらリハビリを行う空間となっており、利用者は、一日の過ごし方を自分で決め、自ら選んだりハビリに取り組みます。  
 自立を引き出すための趣向を凝らしており、利用者が生き生きとバリアを乗り越えていた姿が印象的で、新たな視点で運営されている通所施設として大変参考になりました。

## 常任委員会の視察報告

練馬区：農業体験農園について  
 東京都：小中一貫教育について

練馬区では、市街化区域内の農地1区画30平方メートルを年間3万1千円で区民に貸し出す、農業体験農園を開設しています。



練馬区

農家が開設し、耕作の主導権を持って経営、管理するもので、次の特徴があります。①利用者は農家の農業指導を受けられることができる。②住民と農業者が交流できる。③農家にとって農業経営として成り立つ農園である。農家にとっては、野菜収穫代金と入園料を得ることができ安定した収入が見込め、都市の農地を保全することにも役立ち、農家の雇用の場の確保にもつながっています。  
 本市の市街化区域内の農業を支える施策を考える上で、大変参考になりました。

## 建設水道委員会 (8月7日～9日)

静岡市：自転車通行環境整備事業について  
 横浜市：橋梁長寿命化修繕計画についてなど  
 横須賀市：上下水道行政について  
 川崎市：マイクロ水力発電事業について

横浜市では、小規模な橋から大規模な橋、歴史的な橋など橋梁の特性によりグループ分けして、管理区分ごとに点検頻度や保全更新基本計画を定め、地震対策と長寿命化を積極的に進めています。  
 最小の費用で最大の効果を上げることを目的に予防保全型の維持管理を推進しており、本市も橋梁の長寿命化を進めています。計画的かつ効率的な管理、予防保全の必要性はとも参考になりました。



川崎市

## 編集後記

市民の皆さまの市政に対する疑問やご要望・ご意見を議会の場で発言することは、私たち議員の大切な仕事です。  
 9月定例会でも6月定例会と同様に、多くの議員が一問一答方式で一般質問を行いました。限られた紙面のため、全ての質問と答弁を掲載することができません。  
 提出された議案の内容議決に至るまでの議会活動を、できるだけ分かりやすく市民の皆さまにお伝えすることが「市民参加の行政」の進展につながるの思いで創意工夫して紙面づくりに取り組んでいます。  
 (今川)

【ホームページアドレス】

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/gikai/>

【メールアドレス】

[gikai-shomu@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:gikai-shomu@city.fukuyama.hiroshima.jp)



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

印刷/株式会社山オフセット印刷所 ☎084-922-0280